

# 論文題目

2023年3月

202010000

著者名

筑波大学情報学群  
知識情報・図書館学類



# 目次

1. 序論 .....	2
1.1. 段落 .....	2
1.2. 表 .....	2
1.3. 図 .....	3
1.4. プログラムコード .....	3
1.5. 箇条書き .....	4
1.6. 引用 .....	4
1.7. 参照 .....	4
引用文献 .....	5

# 1. 序論

どこで生れたかとうんと見当けんとうがつかぬ。何でも薄暗いじめじめした所でニャーニャー泣いていた事だけは記憶している。吾輩はここで始めて人間というものを見た。しかもあとで聞くとそれは書生という人間中で一番獰悪どうあくな種族であったそうだ。

## 1.1. 段落

掌の上で少し落ちついて書生の顔を見たのがいわゆる人間というものの見始めはじめであろう。この時妙なものだと思った感じが今でも残っている。第一毛をもって装飾されべきはずの顔がつるつるしてまるで薬缶やかんだ。その後ご猫にもだいぶ逢あったがこんな片輪かたわには一度も出会でくわした事がない。のみならず顔の真中があまりに突起している。そうしてその穴の中から時々ぷうぷうと煙けむりを吹く。どうも咽むせぼくて実に弱った。これが人間の飲む煙草たばこというものである事はようやくこの頃知った。

どこで生れたかとうんと見当けんとうがつかぬ。何でも薄暗いじめじめした所でニャーニャー泣いていた事だけは記憶している。吾輩はここで始めて人間というものを見た。しかもあとで聞くとそれは書生という人間中で一番獰悪どうあくな種族であったそうだ。この書生というのは時々我々を捕つかまえて煮にて食うという話である。しかしその当時は何という考もなかったから別段恐しいとも思わなかった。ただ彼の掌てのひらに載せられてスーと持ち上げられた時何だかフワフワした感じがあったばかりである。

## 1.2. 表

簡単な表ならAsciiDoctorで書けます。複雑な表は、エクセル等で作成し、画像にして貼っても良いです。〇〇の結果を表 1に示す。

列名	列名
Cell in column 1, row 1	Cell in column 2, row 1
Cell in column 1, row 2	Cell in column 2, row 2

表 1. キャプション

どこで生れたかとうんと見当けんとうがつかぬ。何でも薄暗いじめじめした所でニ

ヤーニャー泣いていた事だけは記憶している。吾輩はここで始めて人間というものを見た。しかもあとで聞くとそれは書生という人間中で一番穢悪どうあくな種族であったそうだ。

### 1.3. 図

図は他のツールで作成し、**images**フォルダ内に保存してから、読み込みます。図1に示したように・・・、



図 1. キャプション

どこで生れたかとうんを見当けんとうがつかぬ。何でも薄暗いじめじめした所でニャーニャー泣いていた事だけは記憶している。吾輩はここで始めて人間というものを見た。しかもあとで聞くとそれは書生という人間中で一番穢悪どうあくな種族であったそうだ。

### 1.4. プログラムコード

プログラムコードは核となる処理のみを抜粋して掲載し、全文は付録に掲載します。〇〇の処理をリスト 1に示した。

```
require 'sinatra'

get '/hi' do
  "Hello World!"
end
```

リスト 1. キャプション

どこで生れたかとうんを見当けんとうがつかぬ。何でも薄暗いじめじめした所でニャーニャー泣いていた事だけは記憶している。吾輩はここで始めて人間というもの

を見た。しかもあとで聞くとそれは書生という人間中で一番獰悪どうあくな種族であったそうだ。

## 1.5. 箇条書き

どこで生れたかとうと見当けんとうがつかぬ。何でも薄暗いじめじめした所でニャーニャー泣いていた事だけは記憶している。吾輩はここで始めて人間というものを見た。しかもあとで聞くとそれは書生という人間中で一番獰悪どうあくな種族であったそうだ。

- ・ 箇条書きはなるべく使用しないでください
- ・ 可能な限り文章として表現しましょう
- ・ しかし、ついつい使ってしまう
- ・ なので箇条書きは禁止にします

どこで生れたかとうと見当けんとうがつかぬ。何でも薄暗いじめじめした所でニャーニャー泣いていた事だけは記憶している。吾輩はここで始めて人間というものを見た。しかもあとで聞くとそれは書生という人間中で一番獰悪どうあくな種族であったそうだ。

## 1.6. 引用

書誌事項は、`reference.adoc`にまとめて記載しておきます。

上保（2022）は、卒業論文は誰にでも書けると主張した。

## 1.7. 参照

本ページの、表 1、図 1、リスト 1、上保（2022）はハイパーリンクになっており、クリックするとリンク先に移動します。

# 引用文献

- Dan Allen. Seam in Action. Manning Publications.2008.
- Andy Hunt & Dave Thomas. The Pragmatic Programmer: From Journeyman to Master. Addison-Wesley. 1999.
- 上保秀夫. (2022) 誰でも書ける卒業論文. 筑波大学出版. p.3